

食品リサイクルの実績

リサイクル実績

2013年度は既存のリサイクルループへの参加店舗が増えたこと、てんかすリサイクルが年間を通じ稼働したことなどによりリサイクル率は59.5%に上昇しました。食品小売業のリサイクル目標値である45%を大きく上回っています。今後もリサイクルループへの参加店舗を順次拡大していく予定です。

店舗から発生する食品廃棄物（未利用食品）	2012年度			2013年度		
	排出量 (t)	リサイクル量 (t)	リサイクル率 (%)	排出量 (t)	リサイクル量 (t)	リサイクル率 (%)
生鮮食品の調理クズ（野菜、果物など）、賞味期限切れや飲食の食べ残し	14,200	6,850	48.2%	14,035	7,257	51.7%
魚のアラ（魚介類の調理クズや内臓・骨）	2,521	2,212	87.7%	2,322	2,059	88.7%
廃食用油（使用済み揚げ油）	1,394	1,394	100.0%	1,328	1,328	100.0%
てんかす（フライやテンブラなどの揚げカス）	974	418	42.9%	965	455	47.2%
合計	19,089	10,874	57.0%	18,650	11,099	59.5%

※端数を四捨五入しているため、合計数値と一致しない場合があります

食品リサイクルの推移

商品の廃棄ロス削減に取り組んできた結果、食品廃棄物の発生量は年々減少しています。売上100万円当たりの発生量（発生原単位）も毎年減少しており、2013年度は売上高百万円当たりの発生量は約32.8kgであり食品小売業の目標値65.6kg/売上高百万円を大きく下回っています。2007年度比では74.6%となり、発生原単位を加味した再生利用等実施率は69.6%に上昇しました。今後も未利用食品を廃棄する「もったいない」をできるだけ少なくするよう努めていきます。

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
食品廃棄物発生量 (t)	19,605	21,436	22,908	21,210	19,944	19,089	18,650
リサイクル量 (t)	6,656	7,561	9,444	10,378	10,812	10,874	11,099
リサイクル率 (%)	34.0	35.3	41.2	48.9	54.2	57.0	59.5
再生利用等実施率（当該年度の単純実施率に2007年度比の発生抑制を加味した値） (%)	34.0	47.3	48.9	59.0	64.1	66.5	69.6
食品廃棄物等の発生原単位（発生量：kg/売上高：百万円）	44.00000	35.83000	38.99000	35.64000	34.67696	34.15311	32.80502
発生原単位の対前年度比 (%)	-	81.4	108.8	91.4	97.3	98.5	96.1

※端数を四捨五入しているため、合計数値と一致しない場合があります

食品リサイクルの歩み

2001年に食品リサイクル法が施行されるにあたって、ユニーでは各地で「地域循環」を目指し、できるだけ環境負荷の少ないリサイクルループの構築に努めてきました。

- **2000年**
 - 福井市で地域循環堆肥へのリサイクルに取り組む
 - 名古屋市内店舗に熟乾燥処理機導入（アピタ新守山店）
- **2001年**
 - アピタ福井大和田店が地域循環堆肥へのリサイクルに参加
- **2002年**
 - 茨城県で堆肥リサイクルに取り組む
 - 愛知県内2店舗に真空乾燥機導入（アピタ岡崎北店・アピタ東海荒尾店）
- **2003年**
 - 富山市内4店舗、富山エコタウンに参加（バイオガスによる発電）
- **2004年**
 - 長野県（アピタ伊那店）・奈良県（アピタ大和郡山店）の店舗に真空乾燥機導入
 - 愛知県内3店舗でJA愛知経済連の協力により堆肥化および作物栽培・販売の実験開始
 - 三重県で堆肥リサイクルに参加（アピタ鈴鹿店）
- **2005年**
 - 三重県内で堆肥を使って栽培した作物の販売開始（アピタ松阪三雲店）
 - 愛知県で2店舗（アピタ瀬戸店・アピタ江南西店）に真空乾燥機導入
- **2006年**
 - 横浜市内3店舗が、食品残さを飼料にして飼育した豚肉を販売する「横浜市有機リサイクル」に参加
- **2007年**
 - 愛知県刈谷市で構築した「食品リサイクルループ」が、1月に全国で初めて食品リサイクル法再生利用事業計画に認定される
- **2008年**
 - 第1回食品リサイクル推進環境大臣賞最優秀賞受賞
 - けやきオーク前橋（アピタ前橋店）・アクアオーク大垣（アピタ大垣店）に真空乾燥機を導入
- **2009年**
 - 名古屋、春日井および瀬戸市内店舗から排出した食品残さを飼料にする取り組み「中部有機リサイクル」に参加
 - 千葉県・埼玉県・山梨県・石川県でリサイクルループの取り組みを始める
- **2010年**
 - 三重県（三功）、神奈川県（横浜市有機リサイクル）、富山県（富山グリーンフードリサイクル）の既存リサイクルループを再生利用事業計画に申請。8月神奈川県ループが認定される
 - 愛知県（中部有機リサイクル）のエコフィードで豚の飼育実験を実施
 - 千葉県（プライトビック）では、コンビニエンスストアのサークルKサンクス・ファミリーマートと共同でリサイクルループを構築。ユニーの関東地区で山崎製パンが製造した「エコフィードで育てた豚肉使用の惣菜パン」を販売
- **2011年**
 - 3月千葉県（プライトビック・山崎製パン）のリサイクルループが認定される。6月エコパークの惣菜パンをユニーとコンビニ2社で販売
 - 6月三重県（三功）のリサイクルループが認定される
 - 愛知県・岐阜県（中部有機リサイクル）のリサイクルループが認定される。環境省中部地方環境事務所の地域循環圏構築事業に参加し、岐阜県多治見市を組み合わせ
- **2012年**
 - 京都府の京都有機質資源のエコフィードによる鶏卵生産のリサイクルループが認定される
- **2013年**
 - 京都有機質資源のリサイクルループに滋賀県・奈良県の店を加え、認定される
 - 福井県の長谷川造園とJA花咲ふくのリサイクルループを申請し認定される
 - 新潟県の不二産業とJA新潟みらいのリサイクルループを申請し認定される
 - 長野県のいいた有機とJAみなみ信州のリサイクルループを申請し認定される
- **2014年**
 - 静岡県、山梨県のとんかす由来の堆肥（静岡油化工業）でサツマイモを栽培するリサイクルループが認定される
 - 埼玉県・群馬県でアイル・クリーンテックと角屋商店のリサイクルループを完成、認定される
 - 茨城県・栃木県でむかしの堆肥とレインボー・フューチャーとのリサイクルループを完成、認定される
 - 農林水産省からの補助金を受け、石川県のトスマク・アイとJA松任とのリサイクルループに取り組み、完成。認定されたことで1府18県下でのリサイクルループが完成
 - 第34回食品産業優良企業等表彰「環境部門」において、農林水産大臣賞を受賞
- **2014年**
 - 2014愛知環境賞において銀賞を受賞
 - JAグループ愛知との農業体験・消費者交流会をサークルKサンクスと共同で実施